



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

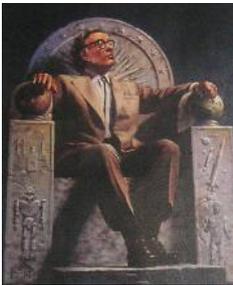
No.17 December 10, 2009

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。

ジョークと私

アシモフの笑い

宮本 倫好



Isaac Asimov の魅力に取り付かれています。ご存知、サイエンス・フィクションの大家です。その博学多識ぶりは圧倒的で、知能指数も群を抜いていることで有名でした。5 歳にして

読み書きを自力で始め、11 歳で最初の小説を書き、生涯の著書は約 500 冊。論文、講演は数知れずと自語しています。

しかし、あれだけ奔放な空想力を宇宙に馳せながら、本人は飛行機恐怖症で、空の旅には生涯殆ど無縁でした。その一方で、彼はなかなかの jokester で、「良質のジョークは、哲学的討論を何時間も行うよりずっと思考を啓発する」と喝破しています。そこで、*Isaac Asimov's Treasury of Humor, Asimov Laughs Again* の 2 冊を中心に、彼の笑いの魅力の一端を覗いて見ます。

Asimov の誕生日を調べて驚きました。「1919 年 10 月 4 日と 1920 年 1 月 2 日の間」となっていました。これ自体まるでジョークです。ロシアから迫害を逃れて、家族とともに 3 歳で渡米し、ニューヨークのスラムで幼少時代を過ごしたユダヤ人です。

父はいわゆる目に一丁字もない人で、ジョークなどとはおよそ無縁でした。グレゴリー暦とヘブライ暦のはざまに、息子の誕生日がぐちゃぐちゃになったそうですが、そんな家族にこんな天才が生まれたのです。

ニューヨークっ子だけに、彼の推すご当地ジョ

ークも色々ありますが、一部を紹介しましょう。Jokedom で中国人といえば、洗濯屋が中華料理関係と決まっていますが、次のジョークなどいかがでしょう。

若い中国人夫婦がベッドで歓を尽くし、暫し休息した後、男が言いました。“What I would like now is some sixty-nine.” これに対し憤然とした女性が答えました。“Are you crazy? Do you want me, at this point, to get out of bed, get dressed, and make some broccoli and rice?” この punch line は sixty-nine が際どい性的な意味を持つのに対し、この女性はメニューの料理番号だと思った、という点です。

これは割合知られた傑作ジョークですが、Asimov は「ニューヨーク以外ではなかなか通用しにくい」と断った上で、このジョークに笑わない男に理由を聞くと、“Because in my neighborhood, sixty-nine is pepper steak.” と答えたそうで、“That was funnier than the joke.” と言っています。

Asimov は多才であっただけに、毀誉褒貶もあり、しばしば批評家の指弾が頭に来ました。そこで彼は批評家連中に対し、痛烈ジョークを紹介していますが、次のような傑作があります。

“A critic is a eunuch (宦官) in a harem. He sees what is done; he knows why it is done; but he can't do it himself.”

彼の著書はユーモアの尽きせぬ泉です。以上はほんのトバロです。折に触れて、また紹介しましょう。

第 17 回研究発表会

最近のリメリック

土屋 政雄

リメリックとは、辞書によると「弱弱強格の 5 行から成る戯詩」とある。AABBA のように脚韻を踏み、1、2、5 行目が比較的長い。猥褻性の強いコミック詩である。次の一篇は古典的傑作。

There was a young plumber of Leigh
Who was plumbing a girl by the sea.
She said, "Stop your plumbing,
There's somebody coming!"
Said the plumber, still plumbing, "It's me."

ここに見るように、1 行目に地名や人名が詠み込まれることが多い。固有名詞はいわば押韻を容易にするための便宜であり、適当に選べるが、ある地名・人名でないと成り立たない地口のようなリメリックもある。

There once was a man from Nantucket,
Who kept all of his cash in a bucket,
But his daughter, named Nan,
Ran away with a man,
And as for the bucket, Nantucket.

特定集団にだけ通用する「楽屋落ち」的なリメリックも目立つ。たとえば、次の作品は LimerickDB というサイト (<http://limerickdb.com/>) でダントツの人気を誇るが、Portal というゲームのファンでないと意味がわからない。

There once was a buggy AI
Who decided her subject should die.
When the plot was uncovered,
The subjected discovered
That sadly the cake was a lie.

次の作品は日本の「やおい」や「腐女子」を連想させる。これは万国共通の現象なのか。

There once was a writer whose fanfic
Was enough to make even Japan sick.
Her slashfic (Link/Ganon)
Was clearly non-canon;

In the games, Link's not hungry for man-dick.

次の作品も、Salisbury が地元では Sarum という古代名で呼ばれ、Hampshire が Hants と呼ばれていることを知らないと思えない。

There was a young curate of Salisbury
Whose manners were Halisbury-Scalisbury
He wandered round Hampshire
Without any pampshire
Till the Vicar compelled him to Walisbury

最近では、リメリックの規則（押韻、長さ）の一部を破って楽しむアンチリメリックもよく見かける。次の作品は各行 29 文字、全体の語数 29 語という凝りようである。

Rob, an odd fellow, designs
Poems of equal-length lines
And he limericks with flair
As his forethought and care
Ensure a word count of 3 9s

次の作品は意味もなく、各行の長さもでたらめだが、韻だけは確かに踏んでいる。

, ` & # (... hash,)
\$ @ | + . - (... dash)
8 7 6 5 4 (... four)
" * _ (... underscore,)
? ; ! AS;DOFB2 (... MASH)

最後の AS;DOFB2 を MASH と読んでいるのは、指の位置を間違えて（あるいは、いらいらが募って故意に）でたらめにキーを打つことを、Keyboard Mash ということから。

come と go

11 月の研究発表会のこと。講師の土屋政雄さんが limericks の例題で Caesar の有名文句のもじり、I invaded her regions, I saw, I conquered, I came（土屋訳「デルタに夜駆け 見たぞ、やったぞ、いったぞ」）を挙げました。この部分は、9 月の例会のジョーク・コンテストでも入賞した傑作で、come の sexual implication がミソです。この部分に及んだ時、出席の唯一の女性会員が、男性会員に気を使い、「私は外に出ましようか」と言いました。すると、会場からすかさず “You have not to go. You just come.” と小さな声がありました。さすが、英語のジョークの会ですね。(M)

第 17 回研究発表会

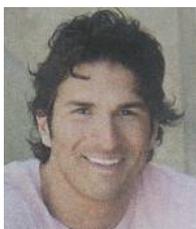
続 Stand-Up Comedy の研究

花岡 蔚

前回 (14 回) に続いて続編では米人のコメディアン 2 人の Stand-Up Comedy と、前回に続き桂枝雀師匠の英語落語「鷲トリ」を最後まで楽しみました。「鷲トリ」はネタも日本の落語ですから皆さんの英語の理解も早く流石！土曜日の昼間でしたが全く Monday night (問題ナイト) でした。問題は米人コメディアン 2 人の Stand-Up Comedy ですが、これには皆様いささか Monday Oh Arena (問題オオアリーナ)。

そこで 2 人の米人によるコメディの「さわり」を日本語で再現してみようと思います。あくまで「さわり」だけです。

1) Gary Gulman



彼は 1970 年 7 月マサチューセッツ州生まれの Jewish。Boston College 卒業後、小学校の体育の先生などを経てコメディアンになった長身 (約 2 メートル) のイケメンコメディアンです。今回のコメディは

カナダのモントリオールでの劇場での公演のテレビからの収録です。

●さて、カナダへ来て最高級ホテルを予約してくれたのは嬉しいんだけど、ちゃんと閉じないカーテンや、一度も洗濯してないのがあるありのベッドスプレッドで寝るなんて、本当にすぐ熟睡出来ちゃうよ。全く！！

部屋で見られるビデオが又私を元気にはしてくれるんだけど、これが不愉快ったらありゃしない。65 分もので料金は 16.99 ドルなんだけど、残りの 62 分間、ビデオを見ている間中ずっと俺が一体どれくらい恥ずかしい不愉快な気分を味わい、自己嫌悪に陥っているか分かるかい？ ●車を運転していて、「貴方の車はスピード違反です」なんて警告が出てくることがあるだろう？ありゃ余計なお世話だよ。

悪いけど俺の車にもちゃんとスピードメーター位ついているからね。そんな事自分だって知ってるっての。よく急にスピードを落とす奴がいるけどさ、そんな必要なんて

ないぜ、だってメーターはあんたの車を絶対追っ掛けちゃ来ないからね。

●自分の身長は 2 メートル近いけど、よく変な質問をする奴がいてさ、君の両親も背が高いの？ なんて聞くのさ、あんた方は何か研究プロジェクトでもしているの？ と厭味の一つも言いたいね。残念だけど両親とも普通だというと、今度は、「じゃあ牛乳配達人の身長はどうだった？」なんて聞いてくるのさ。俺の母親の貞操を疑い尻軽女と疑ってくれてありがとさん！ 牛乳配達って一体いつ頃まであった職業かね？ 母親のデート相手に引き合いに出される職業は皆もう絶滅種ばかしさ。靴修理人、振り売り行商人、煙突掃除屋とかマフィン売りとかね。まあ、いいか！

●この世界に、たった 80 人しかいない俺達ユダヤ人はハズカシカやらないので 120 億人もいる非ユダヤ人のクリスマスが羨ましいね。ところで「The Pill」って知ってるだろう？ これはユダヤ人が発明したんだぜ。The をつけたピルと叫ぶたら、もうこの Birth control のピルしかないんだからね。

●小児麻痺用のピルもあるにはあるけど The が付いたら、もうこのピルだけさ。しかし小児麻痺用のピルもユダヤ人の発明だって事も念の為に付け加えておくよ。土曜日を休みにしたのもユダヤ人だぜ。土曜日の朝、彼女と「いたす」時には、今日も休んで朝から安心して「いたせる」のもすべてユダヤ人のお陰と思っせてせいぜい俺たちに感謝してもらいたいね、じゃあ皆、他のコメディも楽しんでおくれ 又ね！

2) Dane Cook

1972 年 3 月マサチューセッツ州生まれ、NY でデビューして、現在は LA を本拠に映画などでも活躍中のこれもイケメンコメディアン。ギターを弾いて歌も歌うマルチタレントです。今回の公演はボ



ストンで 1 万 8 千人の観衆を前に公演した {Vicious Circle} 収録の一部です。彼のショーは日常の生活の中から話題を集め、その中から男女の会話や仕草の模写などを巧妙に行って観客を沸かすというものです。

●人間、誰でも経験する事と叫ぶたら 3 つあるよね。1) 嘘をつく。2) 泣く。3) 排便時に痛い思いをする。ここに居る皆だって、今は幸せそうに見えても、いつかはきっとこの内のどれかを経験するさ。ところで人間って皆、思い切り泣きたい時があるって思わないかい。

家に帰って一人になったら急に寂しさが込み上げてき

たりしてさ。カウチにもたれて思い切り泣くのさ。「俺はベストを尽くしたって言うのにどうしてなんだ?」「俺はベストを…」なんてね。でも結局そんな時って結構、自己陶酔しているんだよね。

エスカレートすると、これまでの人生で悲しかった出来事をわざわざ思い出したりしてまでもっと激しく泣こうとするもんね。「どうして中学3年の時、同級生の可愛子ちゃんローラは俺以外みんなパーティーに招待して俺だけはずしたんだ」なんて事をね。

あんまり長く泣いている時なんか、泣きながらEメールチェックしたり歯磨いたり電話に出たりしちゃうんだから本当に笑っちゃうよ。

こんな気分の時に絶対に親に電話なんかしちゃいけないよ。母親に電話すると同情されてなだめられちゃうし、父親に電話したら最悪さ。「何が悲しいんだ。俺の悲しみはそんな、生易しい物じゃなかったぞ。甘ったれるな!! 大体お前なんか生んだのは間違いだったんだ。おまえはCape Codに行った時に酔っ払った勢いで出来ちゃった子なんだから。おっと、こりゃあ、ちょっと言いすぎだったかな?」なんて言われて、悲しい気分を楽しむ気持ちがぶち壊しさ。

欧米の stand-up comedy にほぼ共通な事は、皆笑う事を目的として笑うために会場に足を運んでいるので、皆様のような「笑いの通」にしてみると「その何処がそんなに面白いの?」と思われるようなレベルのジョークにも皆、大笑いする事です。しかしこの大笑いこそ高血圧、高脂血、ひいては心臓病やあらゆる病気の改善に役立つ妙薬であることを皆心得ているのでしょうか。皆様も大笑いして健康な良いお年をお迎え下さい。

どうぞよろしく = 新入会員ご紹介 =

瀬能和彦さん (東京都江東区)

① 私にとってジョークとは: 日常そのものです。昔から面白いことやイタズラが大好きなもので、日々笑いのタネを探しております。駄洒落から長文のジョークまであらゆるものが興味の対象です。

② お気に入りのジョークと云うことですが、あらゆるジャンルのジョークが好きですし、文字数の制限もございませんので、一つ挙げるのが難しいです。今後、機会がありましたらみなさんにご披露させて頂きたいと思っておりますのでご容赦下さい。若輩者ですが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

第18回研究発表会と新年会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時: 1月23日(土) 午後2時-5時
- 会場: 平河町 Mercury Room
(クオリティ(株) 6階会議室)
(東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル)
- 交通: 地下鉄・有楽町線麴町駅1番出口より徒歩2分。
詳しくは、<http://www.quality.co.jp/> でどうぞ。
- プログラム①第3回ジョーク・コンテスト
司会=相原悦夫会員
プログラム②新年懇親会 司会=安藤雅彦会員
- 参加費: 会員・非会員とも2,000円。
- 問合せ先: renraku@eigojoker.com

第3回ジョーク・コンテスト出題作品募集

- 要領:
 1. 出題は、お一人二題までとします。
(二題ご提出の方は、一題は easy-listening joke を、もう一題は sophisticated joke をお出しください。)
 2. 長さは、一題50語までとします。
 3. 必要と思われる場合には、「笑いのツボ」を付記してください。
 4. 当日出席できない方も、応募できます。
 5. 結果は、We, Jokers No.18 Joke Contest Supplement 紙上でも発表されます。
- 宛先: mmsagawa403@s6.dion.ne.jp
- 締め切り: 2010年1月11日(月)

WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会会報 17号

発行日: 2009年12月10日

発行人: 世話人代表 宮本倫好

編集人: 佐川光徳

発行所: 英語のジョークを楽しむ会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル
クオリティ株式会社 気付

TEL: 03-5275-6121, FAX: 03-5275-6130

問合せ先: renraku@eigojoker.com

